

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <http://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 万喜夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務  
業務本部長

(氏名) 田谷 純

(TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	14,346	16.2	539	17.8	1,153	△6.2	752	△17.9
30年3月期第1四半期	12,344	22.8	458	5.9	1,229	△36.5	917	△46.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △101百万円( —%) 30年3月期第1四半期 920百万円( 17.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	34.05	—
30年3月期第1四半期	41.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	73,518	42,890	53.9
30年3月期	76,655	43,674	52.5

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 39,651百万円 30年3月期 40,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	16.00	—	20.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,800	9.8	1,300	5.0	2,600	0.2	1,850	0.4	83.67
通期	60,600	5.8	3,300	0.4	5,900	0.3	4,000	1.0	180.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	23,611,200株	30年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,502,504株	30年3月期	1,502,138株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	22,108,875株	30年3月期1Q	22,110,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界的な貿易摩擦激化の懸念などから、世界経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、自動車製品関連事業を中心とした国内外での受注増加により143億4千6百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

損益面につきましては、増収効果に加え、製造経費や販売管理費の低減等に努めた結果、営業利益は5億3千9百万円（前年同期比17.8%増）となりました。経常利益は、持分法による投資利益の減少等により11億5千3百万円（前年同期比6.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5千2百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、売上高は工事関連売上が好調に推移し前年同期を上回りましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰等により前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、屋根用塗料、床用塗料、防水材等の建築・構築物用塗料はほぼ前年同期並みとなったものの、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、大型物件の受注増加等により前年同期比74.7%増と大きく伸張しました。

この結果、当セグメントの売上高は39億1千1百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益は1千2百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

#### ② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、国内外で新規部品を中心に受注が増加したことに加え、製造経費の低減等に努めた結果、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が前年同期比23.8%増と大きく伸張し、防錆塗料等の塗材、金型等のその他売上も順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は104億3千1百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は5億2千4百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

#### ③ その他

保険代理業の売上高は3百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ31億3千6百万円減少し、735億1千8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少12億1千万円、受取手形及び売掛金の減少7億2千5百万円、流動資産のその他の減少6億2千9百万円、投資有価証券の減少6億9千3百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億5千2百万円減少し、306億2千8百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少3億8百万円、流動負債のその他の減少15億8千2百万円、繰延税金負債の減少1億2千1百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億8千3百万円減少し、428億9千万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加3億4千6百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億5千7百万円、為替換算調整勘定の減少5億8千7百万円、非支配株主持分の減少1億9千6百万円によるものです。自己資本比率は1.4%増加し53.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,760	6,550
受取手形及び売掛金	12,981	12,255
電子記録債権	3,974	4,017
商品及び製品	1,573	1,634
仕掛品	600	543
原材料及び貯蔵品	1,138	1,217
その他	1,355	726
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	29,377	26,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,234	8,102
機械装置及び運搬具（純額）	7,555	8,535
土地	4,695	4,695
建設仮勘定	2,651	1,406
その他（純額）	1,907	2,230
有形固定資産合計	25,044	24,970
無形固定資産		
その他	1,191	1,151
無形固定資産合計	1,191	1,151
投資その他の資産		
投資有価証券	19,117	18,423
長期貸付金	322	322
繰延税金資産	162	157
その他	1,475	1,590
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	21,042	20,459
固定資産合計	47,278	46,580
資産合計	76,655	73,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,412	12,327
短期借入金	3,067	3,300
リース債務	47	40
未払法人税等	510	202
役員賞与引当金	91	-
その他	6,586	5,004
流動負債合計	22,715	20,875
固定負債		
長期借入金	4,966	4,640
リース債務	181	155
退職給付に係る負債	4,090	4,052
繰延税金負債	985	864
その他	40	40
固定負債合計	10,265	9,753
負債合計	32,981	30,628
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,237	4,237
利益剰余金	26,103	26,450
自己株式	△499	△500
株主資本合計	34,594	34,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,383	5,026
為替換算調整勘定	309	△277
退職給付に係る調整累計額	△48	△37
その他の包括利益累計額合計	5,645	4,711
非支配株主持分	3,434	3,238
純資産合計	43,674	42,890
負債純資産合計	76,655	73,518

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	12,344	14,346
売上原価	9,703	11,476
売上総利益	2,641	2,870
販売費及び一般管理費	2,183	2,330
営業利益	458	539
営業外収益		
受取配当金	109	129
持分法による投資利益	627	475
その他	65	43
営業外収益合計	803	648
営業外費用		
支払利息	27	27
為替差損	-	5
その他	4	2
営業外費用合計	32	35
経常利益	1,229	1,153
特別利益		
固定資産売却益	0	5
受取保険金	2	-
投資有価証券売却益	64	-
特別利益合計	67	5
特別損失		
固定資産処分損	15	12
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	15	12
税金等調整前四半期純利益	1,281	1,145
法人税等	221	213
四半期純利益	1,060	932
非支配株主に帰属する四半期純利益	143	179
親会社株主に帰属する四半期純利益	917	752

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,060	932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290	△353
為替換算調整勘定	△130	△192
退職給付に係る調整額	21	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△321	△497
その他の包括利益合計	△139	△1,033
四半期包括利益	920	△101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	844	△180
非支配株主に係る四半期包括利益	76	79



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,349	8,991	12,341	3	12,344	—	12,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	3,350	8,991	12,342	3	12,345	△0	12,344
セグメント利益	29	427	456	1	458	—	458

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,911	10,431	14,343	3	14,346	—	14,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	3,912	10,431	14,344	3	14,347	△0	14,346
セグメント利益	12	524	537	1	539	—	539

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。